

共生・地域づくり分科会 第4回会議の進行について

16.2.24 共生・地域づくり分科会長 杉岡 直人

流れ	検討・確認事項
1 分科会報告のまとめ方の基本的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告は分科会の総意となる内容でまとめるべきであり,その他委員の個別意見は別資料の形で取り扱う ・ 今回提出されている2つの報告案は対立するものではなく,分科会で両案についての検討を通じて,最終的に分科会の総意となる報告書に取りまとめる方向を見出す ・ 両案の検討,整理については,それぞれの表及び図解のベースで行う ・ 両案の内容を検証し,一つの報告書としてまとめる方向でよいか
2 杉岡案の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取りまとめの枠組みとして適切かどうか ・ 各項目が分科会の総意として取り扱うべき内容かどうか ・ これまでの分科会の議論を踏まえて,追加・修正すべき点はないか
3 伊藤案の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取りまとめの枠組みとして適切かどうか ・ 各項目が分科会の総意として取り扱うべき内容かどうか ・ これまでの分科会の議論を踏まえて,追加・修正すべき点はないか
4 分科会報告のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両案の検討結果に基づき,一つの報告書としてどのようにまとめるか
5 「市の素案に対する意見の整理(事務局提出資料)について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分科会報告としての確認・合意
6 分科会報告書の作成について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の検討結果に基づいて,会長・副会長と事務局の協議により報告書案を作成し,次回全体会議前に各委員に事前確認する